

別紙標準様式（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	平成28年度 第1回 枚方市スポーツ推進審議会
開 催 日 時	平成28年6月20日（月） 16時30分から 18時04分まで
開 催 場 所	ラポールひらかた 研修室2
出 席 者	会長：高見委員 副会長：木村委員 委員：荒木委員、岩井委員、齊藤委員、佐藤委員、谷口委員、 寺西委員、西邨委員、浜田委員、福島委員、堀口委員
欠 席 者	—
案 件 名	1. 開会 2. 教育長挨拶 3. 委員紹介及び事務局紹介 4. 会長・副会長の選出 5. 会長・副会長就任挨拶 6. 枚方市スポーツ推進計画の策定について（諮問） 7. 審議会の運営について 8. 枚方市スポーツ推進計画の検討について （1）枚方市のスポーツの概況等について （2）枚方市スポーツ推進計画の策定について （3）枚方市スポーツ推進計画策定に係るスケジュールについて （4）枚方市スポーツ推進計画アンケート調査実施概要（案）について （5）その他 9. 閉会
提出された資料等の 名 称	資料1-1 枚方市スポーツ推進審議会委員名簿 資料1-2 枚方市スポーツ推進審議会出席者名簿 資料2 諮問書 資料3 枚方市スポーツ推進審議会の傍聴に関する取り扱い要 領（案） 資料4 枚方市のスポーツの概況等について 資料5 枚方市スポーツ推進計画の策定について 資料6 枚方市スポーツ推進計画策定スケジュール 資料7 枚方市スポーツ推進計画アンケート調査実施概要（案） 参考資料1 スポーツ基本法（抜粋） 参考資料2 枚方市スポーツ推進審議会条例 参考資料3 枚方市情報公開条例（抜粋） 参考資料4 枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程

決 定 事 項	1. 会長、副会長の決定（会長：高見委員、副会長：木村委員） 2. 会議は原則公開とする。 3. 今後のスケジュールについて
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	0 人
所 管 部 署 (事 務 局)	社会教育部 スポーツ振興課

審 議 内 容	
<p>1 開 会</p> <p>事 務 局： 開会挨拶</p> <p>奈 良 教 育 長： 挨拶</p> <p>事 務 局： 資料1-1に基づき、委員紹介。 木村委員については、欠席の連絡をいただいていないので遅参され と思われる。 資料1-2に基づき、事務局職員紹介。 本日は第1回審議会のため、会長・副会長がまだ選出されていない。 選出されるまでは事務局で議事を進行したいが、よろしいか。</p> <p>○（「異議なし」の声）</p> <p>事 務 局： では、議事に入りたい。まず事務局より本日の委員の出席状況を報告 する。</p> <p>事 務 局： 本日の委員出席状況は、委員12名中11名が出席されている。枚方市 スポーツ推進審議会条例第7条第2項に規定する2分の1以上の出席を 満たしており、この審議会の会議が成立していることをご報告する。</p> <p>事 務 局： それではここで、枚方市スポーツ推進審議会について簡単にご説明す る。</p> <p>事 務 局： 参考資料1、参考資料2に基づき説明。</p> <p>事 務 局： ただいまの説明について、何かご不明な点等はあるか。よろしいか。</p> <p>2 議 題</p> <p><u>会長・副会長の選出について</u></p> <p>事 務 局： それでは、次第4「会長・副会長の選出」を議題とさせていただく。 この件について、委員の皆様方から自薦・他薦等、何かご意見はある か。よろしければ事務局提案があるがいかがか。事務局としては、大阪 国際大学教授の高見委員を会長に、また、本日まだお見えになっていな</p>	

いが、関西医科大学の木村委員を副会長にお願いしてはどうかと考えている。委員の皆さまいかがか。

○（「異議なし」の声）

事務局： ご異議がないとのことなので、高見委員が会長、木村委員が副会長に選任された。恐縮だが高見委員は席の移動をお願いしたい。

会長・副会長就任挨拶について

事務局： それでは、会長・副会長ご就任にあたり一言ご挨拶を頂戴したい。

高見会長： 挨拶

事務局： 木村副会長については、来られたらご挨拶をお願いしたいと思う。

枚方市スポーツ推進計画の策定について（諮問）

事務局： それでは、次第6の諮問書の手交を行う。委員の皆さまには、資料2として諮問書の写しをお手元に用意しているので、ご確認いただきたい。

それでは、高見会長と教育長は前のほうをお願いしたい。

○（諮問書の手渡し）

事務局： それではこれより高見会長に会議の進行をお願いしたい。

高見会長： ただいまより私が会議の進行をしていきたい。皆様のお力添えをいただきながら、素晴らしい計画が策定できるようご協力をお願いしたい。

それでは、本日の資料について事務局から確認願いたい。

事務局： 資料確認

審議会の運営について

高見会長： それでは、次第7「審議会の運営について」事務局から説明願いたい。

事務局： 資料3、参考資料2、3、4に基づき説明

以上、会議の傍聴・公開に関する取り扱い等について、ご審議いただきたい。

高見会長： この件について、何かご意見等はあるか。

特にないようなので、本審議会の会議を公開して会議録を公表するものとさせていただく。また、傍聴に関する手続きについても事務局提案の通りとする。

それでは、事務局は傍聴者の確認をお願いしたい。

事務局： 0名である。

高見会長： 傍聴者はなしということなので、引き続き審議を進めたい。

枚方市スポーツ推進計画の検討について

高見会長： それでは、次第8「枚方市スポーツ推進計画の検討について」事務局より説明願いたい。

事務局： まず（1）について説明し、ご審議をいただいた後（2）（3）（4）を一括で説明し、ご審議をいただきたいと考えている。会長よろしいか。

事務局： 資料4に基づき説明

高見会長： ただいまの事務局の説明について、ご質問等はあるか。

谷口委員： 5ページ（5）の「スポーツ教室」は色々あるが、主催はどこか。体育協会か。

事務局： 内容については、体育協会のホームページの中で、実施されているものを、一部であるが掲載した資料となっている。

高見会長： 他に何かあるか。ご意見がなければ引き続き説明をしていただき、その後総合的にご質問等があれば伺いたいと思う。

それでは次に（２）（３）（４）について、一括して事務局より説明願いたい。

事務局： 資料５に基づき説明

○（木村委員遅参）

事務局： 説明の途中ではあるが、木村委員をご紹介したい。

木村副会長： 挨拶

事務局： 引き続き資料５に基づき説明

事務局： 資料６に基づき説明

事務局： 資料７に基づき説明

高見会長： ただいま事務局から一気に説明いただいた。多岐にわたる説明だったが、何かご質問等はあるか。

佐藤委員： 私は、障害者の代表としてこの委員に選んでいただいた。アンケート調査の実施で、障害者の回答はどれぐらいあるのか。

事務局： あくまでも抽出調査のアンケートに障害者の方が入る確率は、どうしても少なくなるので答えにくいところがある。アンケートになるのか別の形態になるのか、そのあたりをご相談させていただくなどして、別の機会を設けないといけないと思っている。

高見会長： よろしいか。

今日せっかくお集まりいただき、お名前だけいただいたが、皆さんそれぞれどういうバックグラウンドをお持ちなのか、よく分からないまま審議に入ってしまった。自分が日頃しているのはこういうことだというご案内も含めて、この概要について望むことやご質問があれば、一言ずつご意見をいただければと思う。堀口委員から順番にお願いしたいと思う。いかがか。

堀口委員： 現時点で私が取り組んでいることは、サッカーを通じて子ども達のキャリア教育をやっていきたいと思っている。昨今プロスポーツの中で色々な問題がある中、どうしても野球なら野球、サッカーならサッカーと特化したものばかりをやってきた結果、そういうふうになったのかと話している。子どもの頃から色々なこと、例えばうちはサッカーチームだが農業体験に行ったり、企業に職業体験に行ったりしながら、子ども達の幅を広げることを、サッカーチームとしてさせていただいている。サッカーは特にグローバルスポーツと言われている。去年オーストラリアのチームが社会見学も兼ねて日本に来た時に、うちの小学生のチーム試合をさせていただいた。子ども達は会話はできないが、コミュニケーションを取っているのを見て、スポーツを通じて外の意識を持つようになって、自分達からコミュニケーションを取ることができるようになったと思う。こういう活動を続けていき、子ども達の幅を広げられたらと

思っている。まだそれほどこの内容に関して分かっていない部分もあるが、「推進体制」の「子どものスポーツ活動の支援」とで、私自身は元々セレッソ大阪で指導をさせていただいていたが、枚方市に来て色々なスポーツの指導者とお話しをして、指導者がどう指導していいのかわからないということを耳にすることがある。そういう面で、市とスポーツに実際に関わっている方が協力しながらやっていければいいのかなと思っている。セレッソ大阪では、全員がプロの指導者だったが、地域でボランティアとしてやっている方が多い中、情熱を持ってされている方が多いと思うので、そういう方をどうサポートしていけるのかが地域スポーツの発展に繋がると思う。そういう部分は大事にしていければと思う。

高見会長： ご自身のサッカークラブでの経験から、子どもの指導について関心をお持ちということである。次に福島委員にお願いしたい。

福島委員： 私はずっとサラリーマンをやっており、今少し時間ができてきたこともあり、地域の皆さんと関わりを持ちたいという気持ちもあって、広報に公募が出ていたのでレポートを提出させていただいた。私自身は自転車を楽しんでいる。もっとスポーツをするべきという一つのきっかけは、一昨年妻が左ひざの人工関節の手術をして、そのリハビリを兼ねてノルディックウォーキングに行ったところ、神社の広場で12～13人の方がラジオ体操をされていて、お誘いを受けた。お休みがお正月の4日間と雨の日という集まりで、そういったところに参加することによって、やはりいつまでも健康で身体を動かすべきだなということもあって、ここに参加させていただいた。今日お聞かせいただいた議題の中で、まだまだ私も勉強不足なところもあるので、今後も色々とお教えいただきたいと思っている。

高見会長： 市民の視点で、どうぞご意見等をいただければと思う。それでは、浜田委員にお願いしたい。

浜田委員： 私は枚方市コミュニティ連絡協議会ということで、枚方市内の45小学校区のコミュニティがあり、それを代表してここに参加させてもらっている。各校区にはスポーツ推進委員が45名いる。その方々が地域の公共団体に入ったり、色々なスポーツを推進したりするという形を取っていただいている。大きくは、秋の区民体育祭を中心に、色々な地域でのスポーツ、うちの校区でも住民に呼びかけて年間8つぐらいの競技を行っている。他の小学校区も、かなり活発にされているところもある。地域としては、そういう形で住民に参加してもらえるスポーツを行っていきたいと思い、本日参加させていただいた。これを通じて、もっと地域で住民がスポーツをできるような形にしていきたいと思う。

高見会長： 次に西邨委員にお願いしたい。

西邨委員： 体育協会は、戦後間もない昭和22年頃は3～4団体だったが、現在では27団体の登録がある。体育協会といえども、加盟団体だけの活動では現状にそぐわないということで、一般市民を対象として活動を広げているところである。また、平成16年には総合型地域スポーツクラブを各市

町村に作りなさいという通達が出たと思うが、その中で体育協会がひらかたキングフィッシャーズスポーツクラブ、長い名前だが、キングフィッシャーズというのは枚方市の鳥「カワセミ」である。活動としては健康維持ということで、木村副会長も体育協会の理事をしていただいでいて、医療面で色々とアドバイスをもらっている。

高見会長： 次に寺西委員にお願いしたい。

寺西委員： 中学校体育連盟を代表してということだが、中学校の体育の教師をしている。中学校にはクラブ活動があり、各学校に運動部もある。教師のクラブ指導というのは専門家ばかりがいるわけではなく、技術的指導と言うより運営や子どもの情動的な面や責任者としての指導になる。他のスポーツ団体とは組織的に違う。だから求められるものと実態にはギャップが幾つもある。例えば子ども達はバスケットをしたい、けどバスケットを専門に指導できる者が必ずいるかと言うと、人事の関係もあって難しいのが現実である。体育の教師として今思うのは、生涯スポーツ、続けていけば楽しい、高校に行っても一般の社会に出ても続けられればという思いが少しでも芽生えた状態で、中学校を卒業させてあげられたらという思いを持っている。中学校の施設を夜7時から市民に開放している。一週間ほとんど満杯の状態である。今後、色々勉強させていただきたい。

高見会長： 次に谷口委員にお願いしたい。

谷口委員： 枚方市老人クラブ連合会を代表して、ここに来させてもらった。枚方市には230単位クラブ、約13,000人の会員がいる。私は今年からスポーツ担当になった。スポーツは好きなほうで、身体が動けば参加したいという気持ちを持っている。老人クラブ連合会では、グラウンドゴルフが一番人気がある。先日は370名が参加した。次にボウリングだが、これは段々減ってきて80名を切っている。お年寄りが辞めていく人が多くて、下が入ってこない。老人クラブはそういう傾向にあり、人数も減ってきて頭が痛いところである。あと、ウォーキングを年に2回ほど開催している。これも参加者は、以前は多かったが、今は多くて60~70名くらいである。ゲートボールは以前していたが、今はやめた。連合会としてはこれだけのスポーツを取り上げているが、単位クラブではカーリングコンという、カーリングを模したものが増えつつある。それから、スポーツ吹き矢も増えつつある。これは初期投資が高いので、すぐに普及するとは思えない。クラブ同士で交流を深めて、元気で長生きするというのを目的にやっている。私自身はまだ副会長になったばかりだが、老人クラブと子どもとの交流を今後課題にしたいと思っている。

高見会長： それでは、先ほど少しご意見いただいたが佐藤委員にお願いしたい。

佐藤委員： 自己紹介みたいになるが、私は大学を出た年に交通事故で全盲になり、それからすぐに盲学校に行った。見えている時は野球一筋でやってきた。盲学校では盲人野球があり、見えなくなって6か月で野球ができた。それを体育の先生が見て色々なスポーツをしると、歩くこともできないの

にグラウンドでは走り回るという状態で、あらゆるスポーツをさせていただいた。根っからスポーツが好きで、指導者ではなくやっているほうである。現在、第16回全国障害者スポーツ大会に大阪府代表の陸上選手として出場している。その中で色々な障害者と会って、他府県も見て、やはり指導者の問題、練習場の問題があり、枚方の市民スポーツで考えると、障害者だけを集めてすると言うよりも、先ほどおっしゃったグラウンドゴルフなり自転車なり、健常者と一緒にできることもあるので、そういうことを進めていけたらと思っている。

高見会長： では齊藤委員にお願いしたい。

齊藤委員： スポーツ推進委員協議会から参加している。スポーツ推進委員協議会ではライフスポーツ財団に協力をいただき、年に一回チャレンジ・ザ・ウォークとグラウンドゴルフ大会を開催している。また、スポーツ推進委員としては各校区においてスポーツのコーディネートや区民体育祭等のスポーツ行事を行っている。スポーツ振興法からスポーツ基本法に変わって、2年前に体制が変わった。この2年間は活動がうまくいってなかったが、今年度から以前に近い形にして、各委員が活動しやすいように体制を変えてもらった。この6月から新体制が始まるので、また以前のように活躍したいと思う。

高見会長： 次に岩井委員にお願いしたい。

岩井委員： 私は、枚方市スポーツ少年団の本部長をさせてもらっている。先ほど西邨委員がおっしゃったように、体育協会と同じことをやっており、違うのは体育協会の主体は大人で、私どもは小学生低学年を主体にやっている。私もこれをやって40年になる。少子化で部会も減って、今は6部会しかない。いつも思っているのは、子どもに体力がない。大阪府は特に小学生の体力がないということで、上のほうからかなり目をつけられている。私達はフェスティバルで体力測定をやっている。測定する指導者はもちろん検定を取った者がついて、子ども達に一日有意義に過ごしてもらっている。スポーツ振興課にもお願いしているが、何せ施設が枚方市にない。総合体育館でさせてもらっているが、本当はもう少し広いところで伸び伸びとやらせてあげたい。私達は青少年健全育成のために活動している。

高見会長： 次に荒木委員にお願いしたい。

荒木委員： 専門はスポーツと健康に関係する心理学である。私の専門のモチベーション、どういうふうになれば行動できるのか、健康的な活動が続けられるかといった視点から2点ほど意見を申し上げたいと思う。1つ目は、堀口委員と寺西委員がおっしゃったことに関係すると思うが、指導者教育が課題であると思う。体育、スポーツ、部活動、市民関係なく、枚方市として枠組みを超えて、枚方のためという視点で指導者に来ていただくことができれば良いと思う。私は日本の大学を卒業しているが、修士課程・博士課程はアメリカで受けているので、日本の視点とは違ってくるかもしれないが、あまりに組織にこだわりすぎるとできなくなって

しまうと思う。団体関係なく指導者の方に働きかけることができるように。そういう意味では、団体の指導者や部活動を指導している先生にアンケート調査を行うとのことだったが、実際それに参加している子ども達にも聞いて、指導者と子ども達の差を埋める作業をしていくことはできると思う。できれば双方に調査をしながら、少しでも現場の声をあげるといことは必要ではないか。あとは、佐藤委員からお話があったと思うが、スポーツ基本法にも明確に書いてあるように、資料5に下線も引いてあるが、「全ての人々の権利」ということは、もちろん健常者・障害者関係なく全ての人ということなので、枠組みを捨て一緒に取り組んでいかなければいけないことだと思う。調査でも既にたくさんの方が分かっていると思うし、高齢者の方は本当にたくさん活動の場や時間、機会があって、一番アクティブなのが高齢者と言われている。課題があるのは小中学生、特に小中高の女子はスポーツを継続する機会がないということが分かっている。障害者の方、女性、それから30代～40代の働き盛りの人達も運動しないことも分かっている。ある程度長年の研究で分かっていることは、もっと生かしていくと早いのではないかなと思う。

高見会長： では、木村委員にお願いしたい。

木村副会長： 専門は循環器だが、スポーツ医学・スポーツドクターをしている。スポーツ医学としても皆さんのお役に立てればと思っている。もちろんスポーツをする楽しみもあるが、障害の予防が最終的な健康長寿に繋がることなので、子どもにとっては障害の予防が非常に大事だと思うし、中高年は楽しむと同時にリスク管理の問題がある。そのためには、先ほどからあがっている指導者の養成や、障害予防も含めた指導をすることが大事だと思う。その辺については、医学的なことも含めて皆さんと一緒に検討できればと思う。

高見会長： 色々なご意見ありがとうございました。私は兵庫県の他市でもスポーツ振興審議会等に関わって、推進計画をいくつか立ち上げてきた経験がある。どうしても国の基本法に則って文章を考えていくと、すごく大きなものになってしまい、市町の状況に合わせたレベルのものをなかなか作りにくい。標準的なものを作っても、あまりそれに魂が入ってこない。ぜひ審議会で皆さんの生きたご意見やアイデアをいただきながら、枚方市の実情に則した課題を解決していけるような基本計画を作れたらと思っている。短期間で答申しなくてはいけないが、これから何回か集まっていたら、どうぞ活発なご意見やアイデアをいただけたらと思う。

浜田委員： 2点だけ伺いたい。1点は、小中学校の放課後の指導者がいないということで、以前民間から市民に委嘱するという話を聞いた。去年ぐらいに枚方市のコミュニティでそういう話が出ていたが、それからどうなっているのか経過報告がない。

事務局： 部活の指導者の件か。

浜田委員： そうである。

事務局： 今年度、派遣枠を拡大している。詳しい制度の概要等については、次

回資料で提示したい。

浜田委員： まだ確実に進んでいないのか。

事務局： 制度自体は進んでいる。

寺西委員： 顧問の教師の判断で、外部コーチという形で専門の指導者に申請する。ただ、なかなか現実問題として人材が見つからない。その方自身もお勤めがあるので、ずっと常に指導していただくということは難しい。

浜田委員： 私は第三中学を卒業している。ラグビー部があるが、ラグビーの指導ができる先生がいなくなると部員数が減ってしまうと聞いた。民間の経験者に入っていただけたらと思う。顧問がいなかったために子ども達がスポーツをできなくなるのが可哀想だと思う。

事務局： そういう課題を明らかにしながら、どう解決していけるかだと思う。

浜田委員： それともう1点、佐藤委員がおっしゃっていた障害者のスポーツ施設だが、2～3年前に舞洲の研修に行った。障害者のスポーツ施設が結構あった。そういう施設をもっと見学できないのか。枚方市は福祉のまちというイメージがあるので、もっと施設があったほうがいいのではないのか。そういう計画はないのか。

事務局： 現段階で障害者スポーツ施設を整備する計画はない。先ほど荒木委員からご指摘いただいたが、障害者のニーズを把握することを、この計画策定のプロセスの中でしないといけないが、一般的な抽出アンケートではそれを把握することは難しい。また把握する方法についてご相談させていただきたい。また、今後の審議会の進め方だが、行政が作った案を出してこれでどうですかということが最初から始まる場合が多いが、この審議会においては最初の2回ぐらいに大きなテーマを区分して、皆さんから課題や方向性等の様々なご意見を頂戴して、それを計画としてまとめていくような案を作成し、最後に詰めていただくというプロセスを取れたらと思っている。

寺西委員： マイナスなことばかり言っているようだったので。すごく自分が専門的に部活をされてきて、一生懸命自分の技術を生かして指導をされている先生もたくさんいらっしゃる。

高見会長： 枚方市内のそれぞれ色々な組織・団体で、スポーツを通じて市民の皆さんにそういう場を提供されている方もいらっしゃるが、結構横の繋がりがなくて情報交換をできなかったり、同じようなことをしてすごく無駄が多いとか、逆に足りないことに対してパワーが出てこないとか、そういうこともある。この審議会の中で情報や意見交換をしながら、そういうことも盛り込んでいけたらと思う。

高見会長： その他について、事務局から何かあるか。

事務局： 次回日程についてだが、先ほどスケジュールについてご説明した通り、7月中の開催を予定している。本日日程を決定していただければと考えている。事務局案として、7月25日午後から次回開催を提案したい。ご審議いただきたい。

高見会長： 7月25日午後ということで、時間は決まっていらないがいかがか。1つ

お聞きしたい。もし出席できない委員がおられた場合は、どのような対応をしていただけるのか。

事務局： できる限り事前にテーマを提示させていただき、メールなりFAXなりで意見を表明していただくというフォローの体制を取りたい。

高見会長： 欠席委員については、事務局からフォローしていただけるということである。7月25日午後に第2回目の審議会を開催させていただくということではよろしいか。

○（「異議なし」の声）

高見会長： それでは、会場については後程事務局から確認の上連絡していただく。

谷口委員： 第2回では何を審議するのか。第3回では計画の内容についてと言っていた。

事務局： 2回目については、現状把握と課題設定ということで、資料5-(4)の【現状把握と課題設定】というところになる。3回目でその下にある「推進計画体制」について、皆さまにご審議いただければと考えている。

高見会長： 課題と方向性について、そんなにきれいに分けられる話ではないと思うので、話が重なってもいいかと思っている。ぜひ率直なご意見をいただきたい。事務局他にあるか。

事務局： 次回の会場については、後日ご案内差し上げたい。

高見会長： それでは、本日の案件は以上で終了となる。次回以降このメンバーでスポーツ推進計画の策定に取り組んでいくことになるので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

事務局： 次回2回目も同じくここラポールひらかたの隣の会場で予定している。時間は2時頃を考えているが、また調整させていただく。

高見会長： 時間についてはまた後日、会場はこちらということである。

それでは、第1回枚方市スポーツ推進審議会を閉会したい。ありがとうございました。